

## パソコンの準備について

### 1. パソコンの必要性と時期について

本学科には、パソコンを用いて課題や演習を行う授業があります。また、一部の授業は遠隔授業で行われるため、パソコンをインターネット接続して受講できる環境が求められます。さらに、履修登録や教材の入手、教員とのやりとりなども電子的に行われます。そのため、学修を円滑に進めるため、パソコンの準備が必要です。以前は、学内にコンピュータ演習室が充実していることなどから、少し学修が進んだ後に準備することを勧めていましたが、上記のような状況から学生が自由に使えるパソコンを早期に準備することが望めます。ご検討いただければ幸いです。

### 2. パソコンの仕様について

- 学科指定のパソコンは定めていません。一般的な Windows パソコンか Mac から機種を選んでください。ただし、学修を円滑に進めるには、ある程度の性能が必要となります。注意すべき点について以下にまとめますので、参考にしてください。
- 通学に支障がないよう、持ち運び可能な重量のノートパソコンが良いです。AC アダプタの大きさや重量も注意して選ぶと良いでしょう。また、バッテリーのもちが良いものが理想的です。
- キャンパス内で自習したり授業を受けたりするときには、インターネット接続が必須です。学内には無線 LAN が整備されています。これを利用するために WiFi に対応したノートパソコンが必要です。最近のほぼすべてのノートパソコンは標準で対応しています。
- Windows パソコンか Mac とするかは、よく迷うポイントだと思います。Windows パソコンは、圧倒的にシェアが大きいことから、必要な情報やソフトウェアが入手しやすい傾向があります。一般には Windows 利用者の方が多く、大学のコンピュータ演習室にも Windows パソコンが導入されています。学科内でも比較的多くの学生が Windows を利用しています。一方で、Mac はユーザインターフェースが洗練されていて、特別な整備をしなくても (Linux と親和性の高い) UNIX 系 OS が使えるなどの特徴があります。いずれもプログラミングなど学修に必要な環境は整備できます。自分で調べてみてどちらかを選択すると良いでしょう。
- リモート会議を利用した遠隔授業のため、WEB カメラ内蔵のノートパソコンが必要です。また、リモート会議にはある程度以上の性能が必要となります。本学では Zoom や Microsoft Teams のオンライン会議システムがよく利用されます。これらに適合した機種を選んでください。特に仮想背景 (背景を画像ファイルに置き換える機能) を利用する場合は、高めの性能が必要となります。
- 以下に望ましいと考えられる性能を示します。参考にしてください。
  - パソコンの形式 ノートパソコン (WEB カメラと WiFi 内蔵、通学、学内利用に支障がないもの)

- 携行に便利なタブレット PC など (iPad、Android タブレット、Chromebook、Windows タブレット など) は持ち運びには便利ですが、Microsoft Office やプログラミングの学修を行うには性能や画面サイズの制約から推奨できません。主たる利用のためには、ノート PC を用意することを推奨します。セカンドマシンとしての利用であれば問題ありません。
- OS: Windows であれば、Windows 11 (Home、Pro は問わない)。Mac であれば最新の macOS
- CPU: Windows であれば、Intel の Core i5、Core i7、Core i9 あるいは AMD の Ryzen 5、Ryzen 7、Ryzen 9 のものを選びましょう。同名の CPU でも年々世代が進んでいます。ここ 2 年の間に販売されているモデルであれば上記の条件で問題ないでしょう。  
Mac では、Apple M2、M2 Pro、M3、M3 Pro、M3 Max チップなどを使用したものを推奨します。Atom、Celeron、Pentium、Athlon などのローエンド向けの CPU を搭載したパソコンは推奨しません。また、Core i3、Ryzen 3 もあまりお勧めしません。
- メモリ 8GB 以上 (なるべく 16GB 以上)  
8GB あれば、ウェブページの閲覧や資料の作成などの作業においては基本的に問題はありません。ただし、多い方が動作は安定し、処理も高速化する場合があります。また、ソフトウェアの開発の演習ではメモリが多い方が望ましいので、なるべく 16GB (もしくはそれ以上) のものを選ぶことをお勧めします。
- ハードディスク/SSD 256GB 以上  
基本的な使い方をする上では、256GB で十分です。ただし、インストールするソフトウェアやマルチメディアファイルの保存が多くなると容量が不足して、管理に手間がかかるかもしれません。ノートパソコンは増設や入れ替えが困難な場合が多いので、卒業まで使用し続けることを考えた場合、余裕があれば 512GB 以上の容量があるものを選択してもよいでしょう。実際に、3 年次、4 年次になるとソフトウェアをインストールするスペースの余裕がなくなって苦勞するケースを散見します。
- WEB カメラ、マイク内蔵 (ない場合は USB で外部接続する必要があります)
- WiFi 接続が可能であること。WiFi には、様々な規格があります。IEEE 802.11 ac, n, g, a, b に対応していれば十分ですが、最近普及の進んでいる 802.11ax (いわゆる WiFi 6) に対応していることが理想的です。もちろん最新の 802.11be (WiFi 7) 対応のものを選んで問題ありません。

### 3. Office ソフト、ウイルス対策ソフトについて

- 本学は Microsoft 社と包括ライセンス契約を結んでおり、学生は最新の Microsoft Office を自分のパソコンに無償でインストールできます。ただし、使用できるのは在学期間中のみです。詳細はメディアセンターのホームページで確認してください。家電店では Microsoft Office インストール済みのパソコンも売られていますが、それにとらわれずに選ぶことができます。
  - メディアセンター  
<https://www5.jwu.ac.jp/institution/mediac/>
  - Microsoft EES (A3) について  
[http://www5.jwu.ac.jp/institution/mediac/09Office\\_VB/EES.html](http://www5.jwu.ac.jp/institution/mediac/09Office_VB/EES.html)
- ウイルス対策ソフトもトレンドマイクロ社と包括ライセンス契約を結んでおり、学生はウイルスバスターを自分のパソコンに無償でインストールできます。これも使用できるのは在学期間中のみです。通常期は学内

に学内のネットワーク環境でインストールする必要がありますが、コロナ対策期間中は自宅等からでもインストールできるように工夫されています。

➤ ウイルス対策ソフトについて

[http://www5.jwu.ac.jp/institution/mediac/09Office\\_VB/virusbuster.html](http://www5.jwu.ac.jp/institution/mediac/09Office_VB/virusbuster.html)

#### 4. その他

- 自宅から遠隔授業を受けるためにはインターネットへの接続が必要になります。授業への参加にはブロードバンド回線が望ましいです。また、通信データ量が多くなることがあるので、モバイル契約のテザリングなど従量制サービスの場合には注意してください。定額制の方が便利です。
- キャンパス内で遠隔授業を受ける場合は、ヘッドセット(マイク付きヘッドフォン)があると便利です。
- データの受け渡しなどのため、USB メモリがあると便利です。ただし、故障することもあるので、大事なデータは別に保存しておく必要があります。また、置忘れや紛失、コンピュータウイルスへの感染など、セキュリティに十分に注意して使ってください。
- 生協(日本女子大学生生活協同組合)では、本学の利用実態を踏まえて推奨機種を販売しているようです。また、先輩たちからのアドバイスなども紹介されているようなので、参考にしてください。

➤ 日本女子大学生協 受験生・新入生応援サイト 2024

[https://text.univ.coop/puk/START/jwu/entrance/entrance\\_205.html](https://text.univ.coop/puk/START/jwu/entrance/entrance_205.html)

※ 今後のサイトの更新などにより表示されない場合は、「日本女子大学生協」、「受験生・新入生応援サイト」で検索してみてください。

(以上)